



園長だより

令和7年度

11月号

11月は、なんといっても運動会！！ 練習等、過程の場面も紹介します
 年長の描いた絵がプログラムを飾っています。絵も素敵ですが、めあてがとてもいいのです。
 めあては、具体的であればあるほどいいのです。そういうめあてがたくさんありました。
 これは子どもの「やる気」の証拠です。

麻袋から始まる障害物競走。絵にもよく描かれています。スタートからがめあてなのですね。



このめあては、年長のめあてにあてはまるのではない
 でしょうか。表情豊かな絵も見ていてとても楽しい。



竹太鼓のダイナミックさがわかります。
 この元気な表情。やる気に満ちた腕のあげ方!!



このカラフル感。それにとても細かくきれい。
 一人一人がすごく豊かに描かれていますね。



ここには自分と友達の名前が書いてありました。
 一緒に頑張ろうという気持ちがいいですね。



竹太鼓とその後ろ、太鼓を叩いている腕。
 こういう躍動感のある絵、本当にいいなあ。

年長



【運動会の練習見学】
毎年隣の小学校から、
運動会練習の見学のお誘いを受けています。年長が対象です。
4年生と年長は同じソーラン節を演技するので、見学にはちょうどいいのです。

小学生はHPに載せられないので、これだけの写真になりますが、行くとリレーをしています。年長児は、その足の速さにびっくり。速いという子は、その走り方がとてもカッコいい。年長なりにわかっている子もいます。演技ではこの写真のように食い入って見ている子もいますね。本当にこういう姿がいいのです。曲になると動き出す子も。写真に撮れなくて残念です。小学生もこうして見られていることが、いい刺激になるようです。

運動会練習・本番の風景

子どもたちのこんな姿や表情に、大きな生命力を感じます



開会式

運動会の歌 準備体操

年長 始めの言葉 ↓ これは運動会当日。立派です。

↑ 年長
ひよこも
年少も
みようみまね
で踊っています。当日、
年少も元気
です。↓



次のページからは、いよいよ各学年の演技をご紹介します。まずはプログラムNo.1「ソーラン節」

プログラムNo.1 まずは**年長の『ソーラン節』** 太鼓と竹太鼓も見ごたえあり

毎年、続いている年長のこの演技。プログラム順や構成を変えながらも、なかなか真剣な表情で活動しています。年長らしさを感じます。

子どもたちの素晴らしいところは、どの子もみんな踊り切っているところです。



当日2日前の演技。当日はこんなに寄って撮れないので、この写真の方がいいと思って載せています。



ソーラン節の取り組み。実は年長の中に、昨年度年中の時に、ソーラン節に興味をもって、年長の演技直後も踊っていた子がいます。今年小学校へ行っても、4年生の演技に釘付け。私は、練習と運動会当時もその子のように注目しました。こういう意識のつながり、とても大切にしたいのです。



演技を終わって帰る姿に、思わずシャッターを押してしまいます。

次は、**年中** これもコラムか何かに載せたと思いますが、『ダンシングヒーロー』

練習というより、踊りの心地よさを味わって、ニコニコで動いています。隊形移動もありますが、よくみんなついてきています。下の写真を見れば、その様子が一目瞭然ではないですか。



みんながそれぞれのノリで、見ているほうも楽しくなります。年中の子たちも、全員見事に踊り切っているという感じです。私はこの「全員」に注目します。これはすごい力です。

朝、門のところに立っていると、「園長先生 踊るから見て」とひとりの女の子が来ます。私はもちろん？この曲はフルに歌えるので、前奏からうたうと、「ちょっと待って、〇〇ちゃん連れてくる」と。すると8人の子が来て、横に並んで踊る準備をしています。歌っている時にも楽しくて吹き出してしまうくらい。こうしてバンダナと手の飾りをつければ、さらに盛り上がりますね。

年中 バルーン

たくさんの方々が見えても、堂々とできました。こういう力は、どの子にもあります。



学年みんなで力を合わせて、バルーンづくり
なかなか真剣な表情で、力を入れて引っ張ったり、緩めたり、揺らしたり。

「みんなで一緒に、みんなと同じ動きや活動の中で、できるようになることをがんばる」という取り組みでは、できたという思いやがんばったという満足感が実感できることが、大事だと思っています。

バルーンの技で真ん中に置いたボールが高く上がった時、年中の子どもたちはどんな表情なのでしょう。

そういうモチベーションが繰り返し繰り返し練習する中で、高まっていくのです。



年少・ひよこ

こんな姿で、次の出番を待っています。

緊張しているのかな?してませんね。



子どもたちのかぶっている帽子?をよく見て下さい。ハナちゃんとしまじろうけて級外の先生が作り上げ



爆笑。子どもたちもにこにこ。本番でこれを見た保護者の皆さんもにっこにっこでしょうね。

ここから下が運動会当日の風景です。音楽とともに、ノリノリで踊っている子もいますね。

年少、満3歳児↓さあ、はじまるよ。自分の場所あっているかな。↓しゅっぱ〜〜〜っつ!



みんなに合わせるというより、音楽に乗って、思い思いに踊っている姿がいろいろあって、楽しくて仕方ありません。それでも何か形になっているような。

運動会のトリを飾るのは、年長組体操



麻機幼稚園伝統の組体操。私が一番注目して見ているのは、この場面です。運動会の園長だよりには昨年も載せた場面です。この場面の価値、こんな風に捉えています。

○一人技は、個々に頑張る意識がないと成り立ちません。個々が注目される一番の場です。

○個々の動きがあって、全体の動きや形態のすばらしさができるのです。一人一人が大切です。

○ブリッジの完成率。麻機幼稚園のカリキュラムには「体操」の時間が入っています。この幼稚園の大きな特色です。運動会は本園の大きな教育効果の発表の場だと思っています。満3歳児からの積み上げがあります。だからこそ、たとえばこういうブリッジ。みんなできていなければならないと思っています。運動会での動きや意識は高くなければならないと感じます。その場面がこの写真です。大勢見ている中で、堂々とやり切る子どもたちの姿です。

○「年長」の演技という意味。年長のこういう姿を保護者はどう見ているか。私にとって大切な見方は、お子さんがやがて、こういうことができるようになるんだということ。この幼稚園でこういう風に育つんだということ。そういう将来への期待をもって、通園させていただきたいのです。きっとそういう見方をして感動している方もいらっしゃることでしょう。「年長」は未来の姿。そんな価値があります。（私が小学校教諭のころ、6年生の活動について、保護者の方から聞いた言葉です。）



ほっと一息 戻ります

みんながんばりました

閉会式



年長 終わりの言葉の代表の子どもたち。メダル授与の代表の年長。開会式の代表の子にも言えることは、とにかく返事がとてもいいことです。園の合言葉の一つ「えがおいっぱい」。今年の重点は、「返事をする事」です。「自分の存在を示す。」「相手への反応を示す。」「自信を持たせる」ととても大切なことです。この子たちの返事には、こういう意味がとてもよく出ていたと思っています。

(運動会のメダルも級外の先生がすべて作りました。全部手作りなのです。大事に持ち帰ってくれたと思います)

オレンジ(時間外保育)

今月も楽しい壁面ができあがりました

今月も楽しい壁面を、子どもたちと作り上げました。毎月作られる楽しい壁面掲示を園長だよりも、何回か紹介しました。担当が、教材研究をして工夫した制作物の掲示です。毎月変えているところがとても楽しくていいですね。その月の雰囲気が出ています。

何よりもこういう制作物を時間外保育でやることの教育的効果も高いと思っています。時間外保育は、来た子からホールの様々な遊びの道具などを使って、どんどん遊びだしていきいます。そういう中で、こういう制作物の呼びかけを担当がすると、徐々に子どもが集まり、こういう掲示づくりができていくのです。子どもが自分なりの思いをもって、自主的に作り上げた作品だと言えます。

こういう自主的な活動の工夫や月の季節を感じる掲示になっていると思います。

